

2022年2月9日

報道関係者各位

発行: アットホーム株式会社
分析: アットホームラボ株式会社

賃料動向

小規模オフィス(50坪以下)の募集賃料動向 - 2021年下期(7月～12月) -

東京

- 東京20エリアの小規模オフィス募集賃料(以下、賃料)は超小型・小型ともに横ばい。
5～25坪(以下、超小型)は、13,278円/坪 前期比+0.8%
25～50坪(以下、小型)は、15,272円/坪 前期比0.0%
- 超小型は13年上期以降、小型は16年上期以降続いた上昇基調が20年下期をピークにとどまる。今期は両タイプとも前期比+1.0%以内と横ばい。

< エリア別賃料トップ5 >

超小型

順位	(前期)	エリア	賃料/坪
1	(1)	銀座	18,261 円
2	(2)	原宿・表参道	16,547 円
3	(3)	渋谷	16,083 円
4	(5)	新橋・虎ノ門	15,805 円
5	(4)	恵比寿・目黒・中目黒	15,733 円

小型

順位	(前期)	エリア	賃料/坪
1	(2)	銀座	21,387 円
2	(1)	原宿・表参道	20,614 円
3	(3)	渋谷	20,262 円
4	(4)	新橋・虎ノ門	17,967 円
5	(5)	恵比寿・目黒・中目黒	17,018 円

その他主要エリア

- 超小型の賃料は、全5エリアで前期比プラス。
- 小型は、仙台市を除く4エリアで前期比プラス。

FOCUS 都心5区の募集物件数、急増に歯止め。コロナ後を見据えた需要の回帰も。

【調査概要】

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区 代表取締役社長:鶴森康史)の不動産情報ネットワークに登録・公開された小規模オフィス(50坪以下)の募集賃料について、アットホームラボ株式会社(東京都千代田区 代表取締役:庄司利浩)に調査・分析を委託し、アットホームが公表するものです。

【対象エリア】

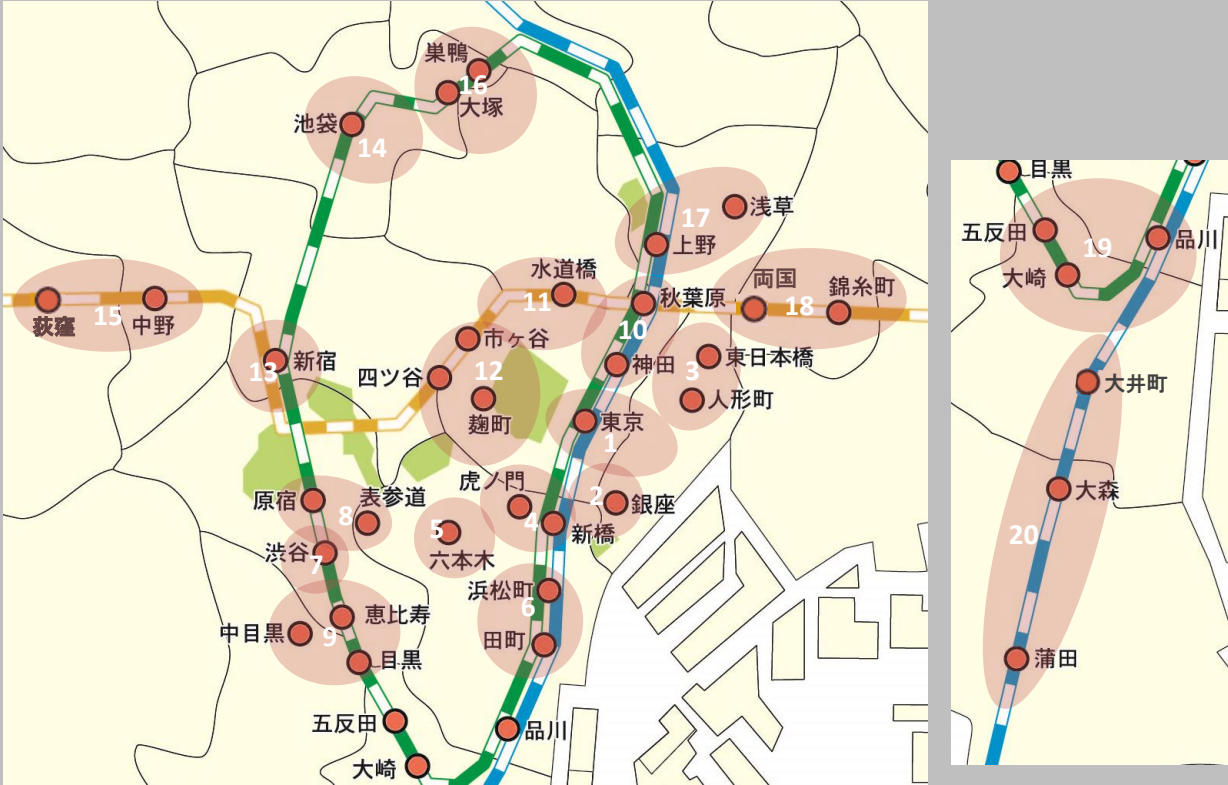
- ・ 東京都:20エリア (詳細はP2～3)
- ・ その他主要エリア:宮城県仙台市、神奈川県横浜市、愛知県名古屋市、大阪府大阪市、福岡県福岡市 (詳細はP13)

【対象データ】

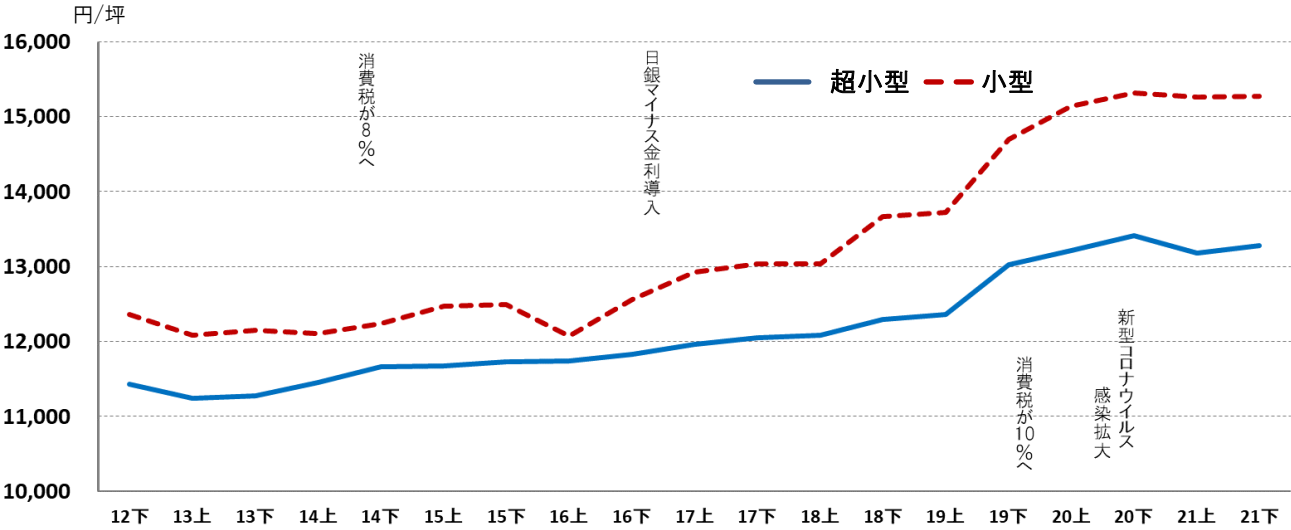
- ・ アットホーム不動産情報ネットワークに登録・公開された貸事務所(一棟貸、貸店舗は含まない)
- ・ 駅徒歩10分以内の物件
- ・ 上期=1月～6月、下期=7月～12月
- ・ 対象期間(6カ月間)内に同一棟で複数募集されている場合は最新の募集情報を採用
- ・ 賃料は共益費等込の坪単価(税抜)
- ・ 対象エリアごとの中央値を採用

本調査では募集面積に応じて 超小型 = 5坪以上～25坪未満、小型 = 25坪以上～50坪以下 と定義しています。

東京エリアマップ



東京20エリアの賃料(坪単価)推移



POINT

東京20 エリアの賃料は、超小型が前期比+0.8% (+103円) の13,278円/坪、小型が前期比0.0%(+6円) の15,272円/坪となった。

超小型は13年上期以降、小型は16年上期以降続いていた上昇基調が20年下期で止まり、今期は両タイプとも前期比+1.0%以内と横ばい。

	超小型	小型
21下	13,278円	15,272円
前期比	+0.8%	0.0%
(21上)	(13,175円)	(15,266円)
前年比	-1.0%	-0.3%
(20下)	(13,410円)	(15,315円)

募集賃料一覧(共益費等込の坪単価)

※矢印は前期からの変化率
 -10.0%以下
 -9.9%～-5.0%
 -4.9%～4.9%
 5.0%～9.9%
 10.0%以上

No	エリア	超小型（5～25坪）			小型（25～50坪）		
		21下	前期比 (21上)		21下	前期比 (21上)	
1	東京・日本橋・京橋	13,948 円	-2.3% (14,270円)		15,323 円	-4.2% (16,000円)	
2	銀座	18,261 円	0.0% (18,268円)		21,387 円	+5.5% (20,263円)	
3	東日本橋・人形町	11,278 円	-0.7% (11,363円)		13,315 円	+0.3% (13,276円)	
4	新橋・虎ノ門	15,805 円	+5.4% (15,002円)		17,967 円	-4.8% (18,867円)	
5	六本木	14,295 円	+3.8% (13,767円)		16,171 円	+6.6% (15,172円)	
6	浜松町・田町	13,772 円	-1.5% (13,975円)		14,973 円	-1.3% (15,173円)	
7	渋谷	16,083 円	-1.4% (16,312円)		20,262 円	+1.5% (19,961円)	
8	原宿・表参道	16,547 円	+0.6% (16,455円)		20,614 円	-1.1% (20,847円)	
9	恵比寿・目黒・中目黒	15,733 円	-0.9% (15,869円)		17,018 円	-2.3% (17,423円)	
10	神田・秋葉原	12,728 円	+1.4% (12,557円)		14,980 円	-1.6% (15,221円)	
11	水道橋・御茶ノ水	12,243 円	-1.6% (12,447円)		13,276 円	-5.7% (14,076円)	
12	市ヶ谷・四ツ谷・麹町	13,591 円	+1.7% (13,368円)		16,971 円	+4.3% (16,272円)	
13	新宿	13,712 円	+2.5% (13,381円)		16,969 円	+0.9% (16,820円)	
14	池袋	12,366 円	-0.6% (12,439円)		14,898 円	+0.2% (14,871円)	
15	中野・荻窪	10,868 円	+2.9% (10,563円)		11,750 円	+14.4% (10,268円)	
16	大塚・巣鴨	9,651 円	-1.6% (9,805円)		10,654 円	-1.5% (10,815円)	
17	上野・浅草	10,992 円	+4.0% (10,571円)		12,254 円	+9.4% (11,206円)	
18	両国・錦糸町	9,195 円	-3.3% (9,506円)		10,068 円	+7.2% (9,391円)	
19	品川・大崎・五反田	12,989 円	+2.1% (12,726円)		14,974 円	+3.3% (14,499円)	
20	蒲田・大森・大井町	10,541 円	-1.8% (10,729円)		12,179 円	+3.7% (11,744円)	

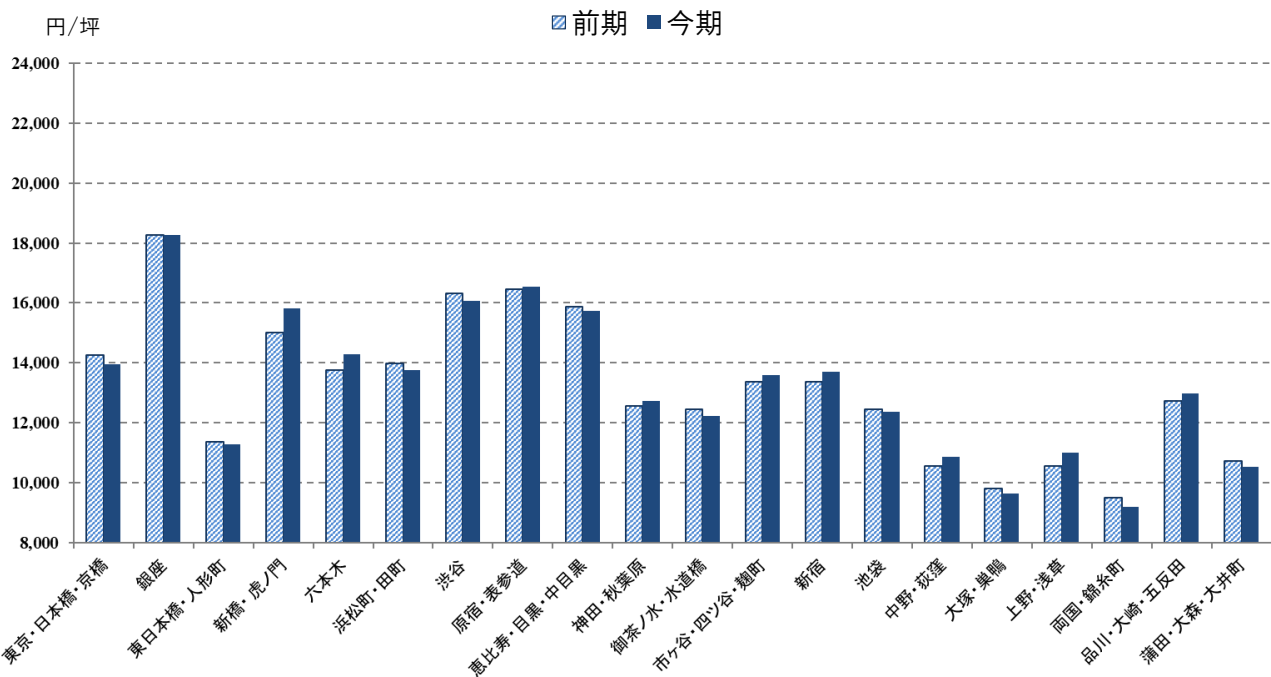
超小型(5~25坪) エリア別比較

POINT

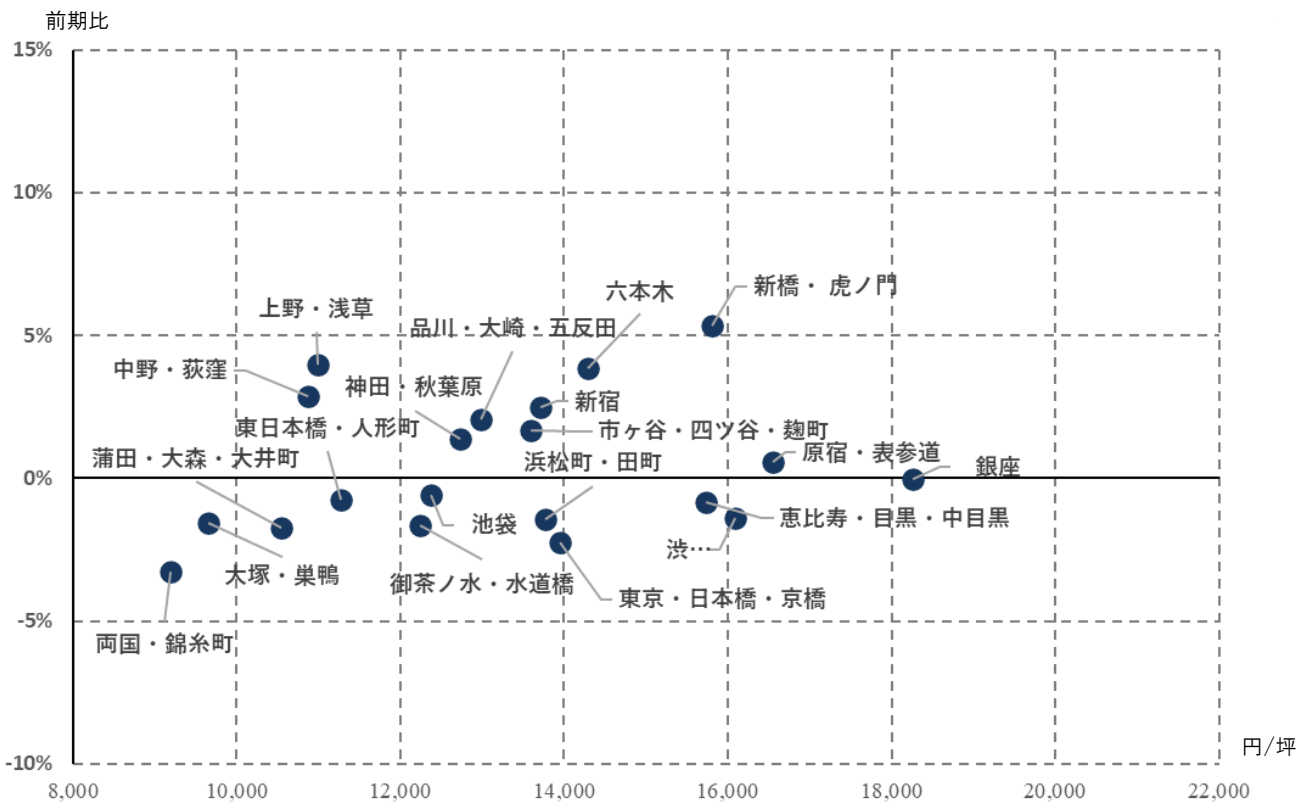
超小型の賃料は、全20エリア中9エリアで前期比プラス、10エリアで同マイナス、1エリアで同横ばいとなった。(図表2)

また、変化率も19エリアで前期比±5%以内と落ち着きを見せ始めている。最も変化したエリアは「新橋・虎ノ門」の同+5.4%。

図表1 エリア別 賃料



図表2 エリア別 賃料と前期比

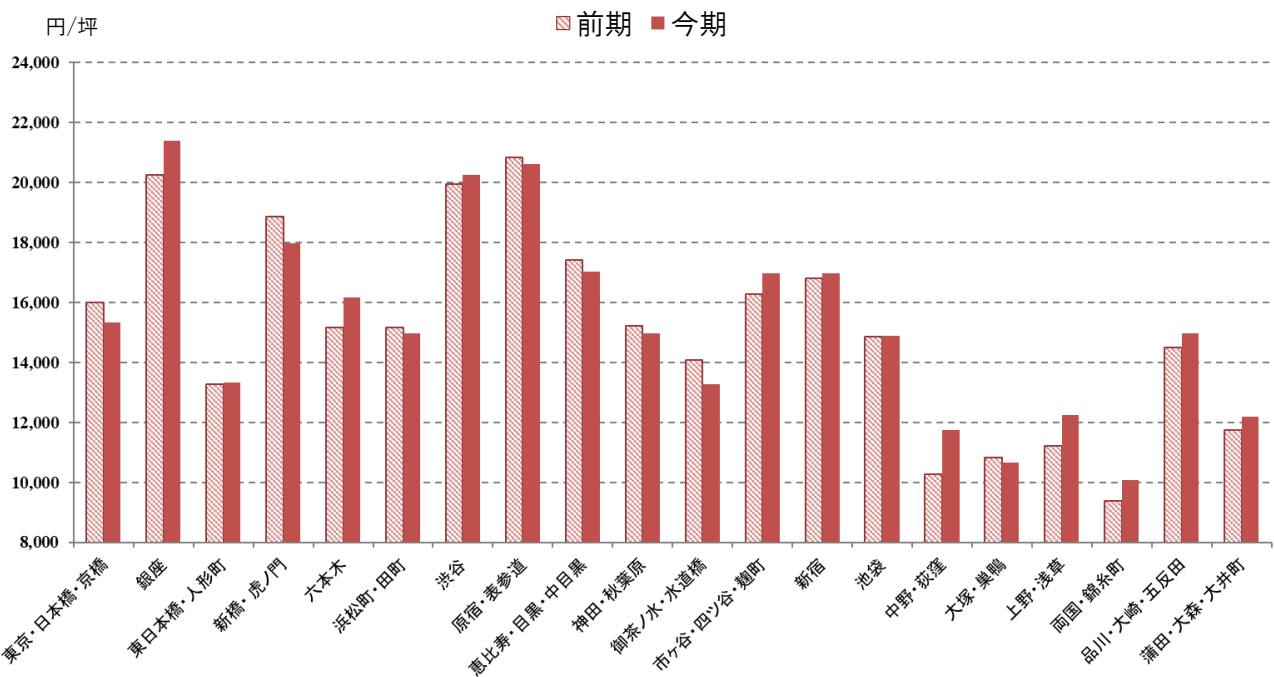


小型(25～50坪) エリア別比較

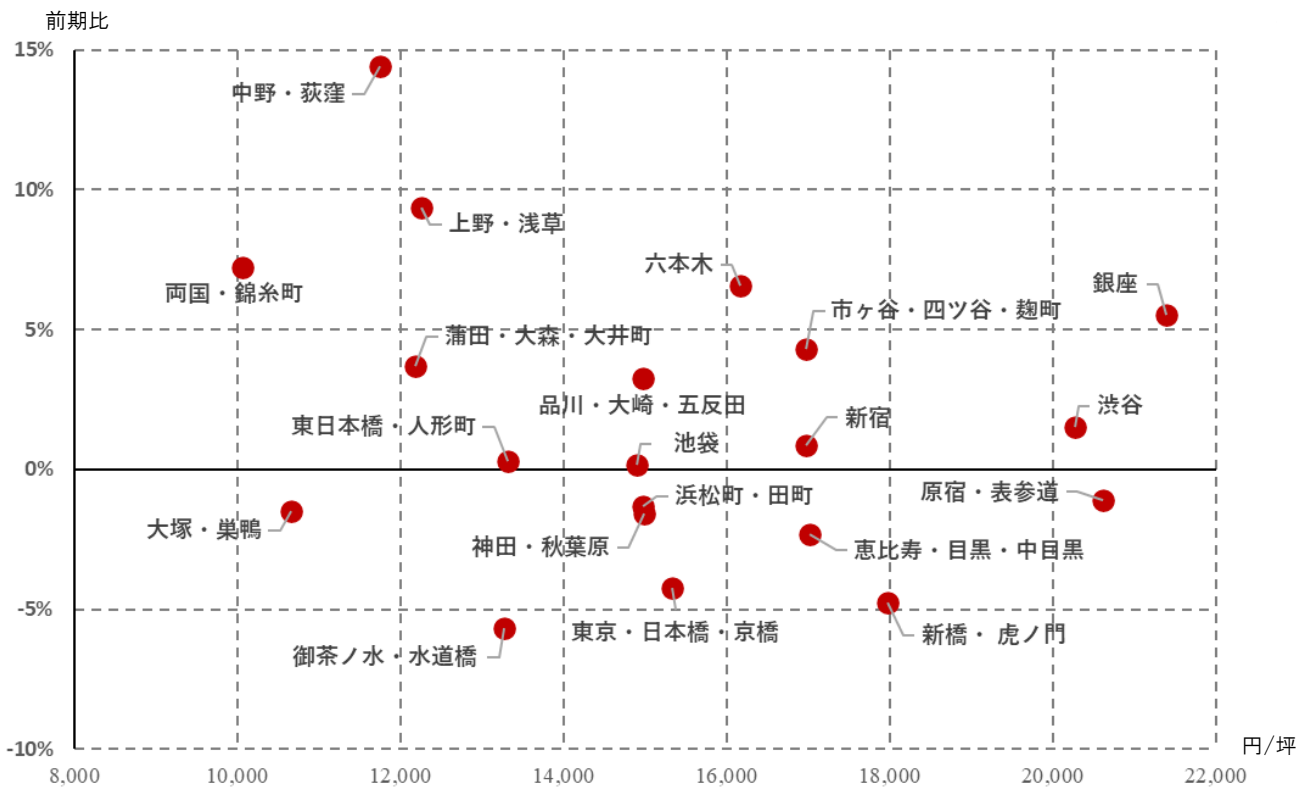
POINT

小型の賃料は、全20エリア中14エリアが前期比±5%以内、5エリアが同±5%～10%以内となり、超小型に比べると動きがみられる。(図表4)
特に「中野・荻窪」では、同+14.4%と今期唯一2桁の上昇率となった。

図表3 エリア別 賃料



図表4 エリア別 賃料と前期比



「東京・日本橋・京橋」「銀座」「東日本橋・人形町」



POINT

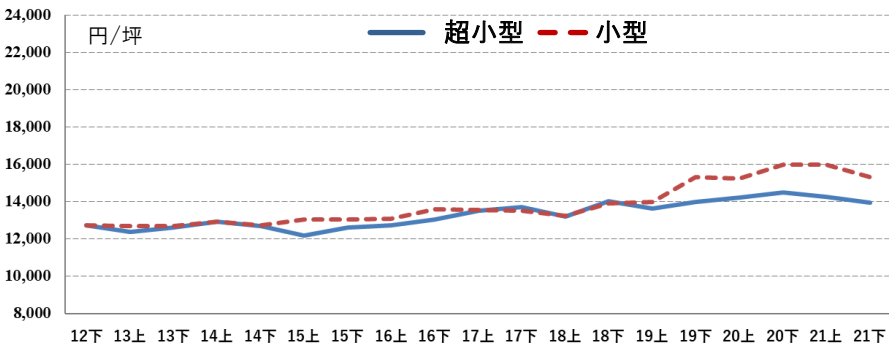
- 「東京・日本橋・京橋」は両タイプで前期比、前年比ともにマイナス。
- 「銀座」は小型で、前期比+5.5%、前年比+7.1%と2期連続で上昇。

新築募集物件※

- ◆ JECTONE人形町ビル 6階建
日本橋人形町2丁目
- ◆ パインコート日本橋 9階建
東日本橋1丁目
- ◆ BIASTA日本橋箱崎 8階建
日本橋箱崎町

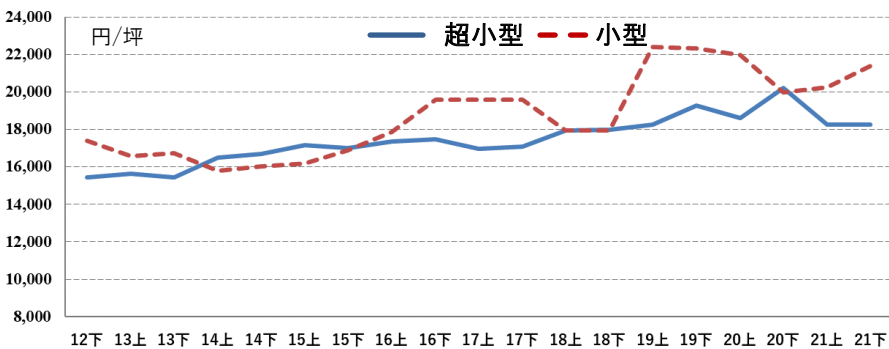
※今期募集された、築後1年以内の小規模オフィスの主な事例。
次ページ以降同様。

1. 東京・日本橋・京橋



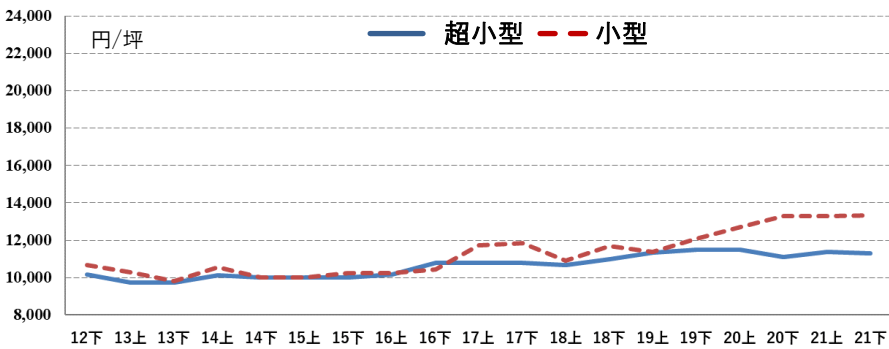
	超小型	小型
21下	13,948円	15,323円
前期比	-2.3%	-4.2%
(21上)	(14,270円)	(16,000円)
前年比	-3.8%	-4.2%
(20下)	(14,497円)	(15,991円)

2. 銀座



	超小型	小型
21下	18,261円	21,387円
前期比	0.0%	+5.5%
(21上)	(18,268円)	(20,263円)
前年比	-9.7%	+7.1%
(20下)	(20,212円)	(19,966円)

3. 東日本橋・人形町



	超小型	小型
21下	11,278円	13,315円
前期比	-0.7%	+0.3%
(21上)	(11,363円)	(13,276円)
前年比	+1.6%	+0.1%
(20下)	(11,100円)	(13,302円)

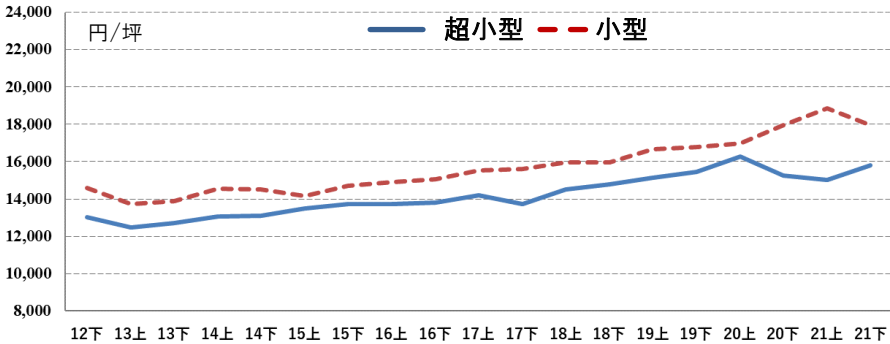
「新橋・虎ノ門」「六本木」「浜松町・田町」



- POINT
- 「新橋・虎ノ門」は小型で前期比-4.8%と、15年上期以来13期ぶりの下落となった。
 - 「六本木」は前期から一転、超小型で同+3.8%、小型で同+6.6%と両タイプともプラスに転じた。

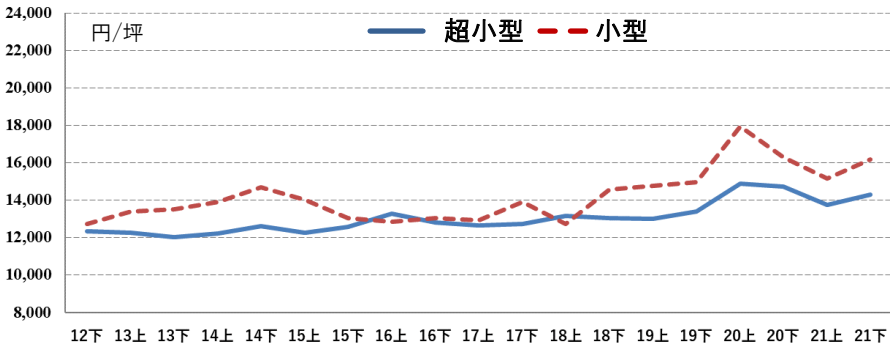
- 新築募集物件
- ◆ AMANO芝公園 8階建
芝公園1丁目
 - ◆ 第2喜久ビル 5階建
芝大門2丁目

4. 新橋・虎ノ門



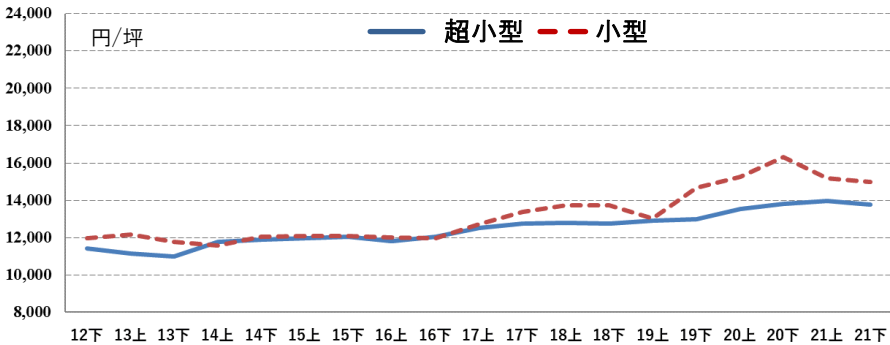
	超小型	小型
21下	15,805円	17,967円
前期比 (21上)	+5.4% (15,002円)	-4.8% (18,867円)
前年比 (20下)	+3.5% (15,272円)	0.0% (17,967円)

5. 六本木



	超小型	小型
21下	14,295円	16,171円
前期比 (21上)	+3.8% (13,767円)	+6.6% (15,172円)
前年比 (20下)	-2.9% (14,726円)	-0.7% (16,289円)

6. 浜松町・田町



	超小型	小型
21下	13,772円	14,973円
前期比 (21上)	-1.5% (13,975円)	-1.3% (15,173円)
前年比 (20下)	-0.3% (13,815円)	-8.3% (16,320円)

「渋谷」「原宿・表参道」「恵比寿・目黒・中目黒」



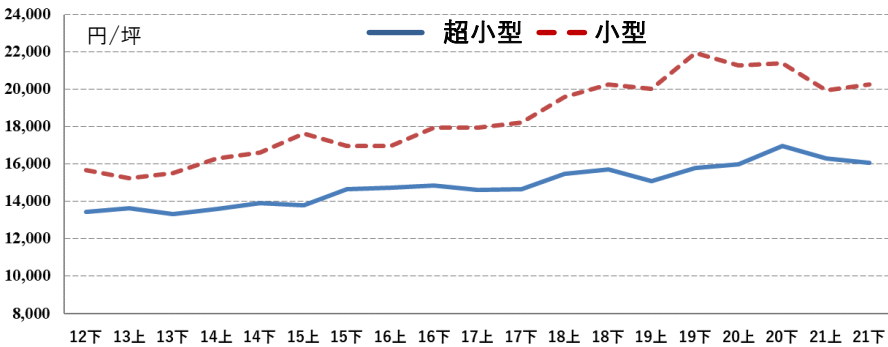
POINT

➤ 「渋谷」「原宿・表参道」「恵比寿・目黒・中目黒」は両タイプで前期比±3.0%以内と全体的に落ち着いている。

新築募集物件

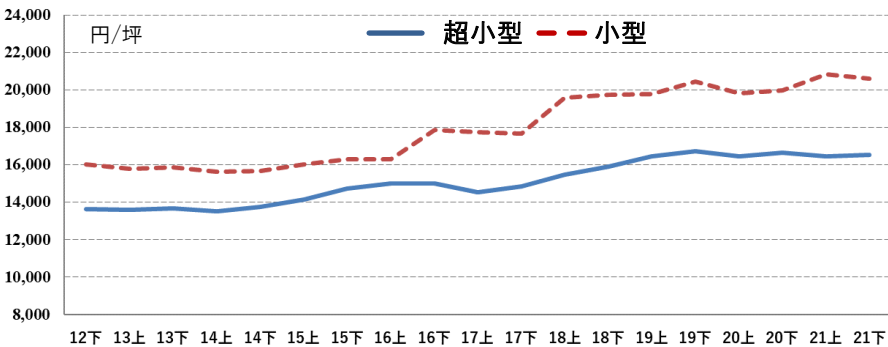
- ◆ グランベル恵比寿Ⅳ 9階建
恵比寿西2丁目
- ◆ 白の洞窟 13階建
宇田川町
- ◆ CAQUI Yebisu 3階建
恵比寿西1丁目

7. 渋谷



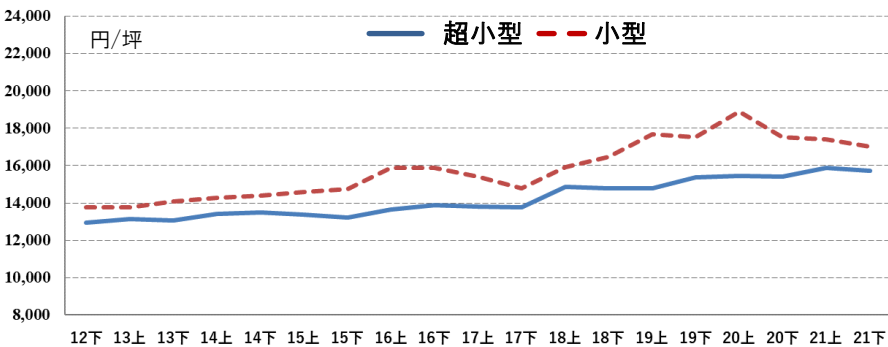
	超小型	小型
21下	16,083円	20,262円
前期比 (21上)	-1.4%	+1.5%
前年比 (20下)	-5.2%	-5.3%

8. 原宿・表参道



	超小型	小型
21下	16,547円	20,614円
前期比 (21上)	+0.6%	-1.1%
前年比 (20下)	-0.5%	+3.3%

9. 恵比寿・目黒・中目黒



	超小型	小型
21下	15,733円	17,018円
前期比 (21上)	-0.9%	-2.3%
前年比 (20下)	+2.0%	-2.8%

「神田・秋葉原」「水道橋・御茶ノ水」「市ヶ谷・四ツ谷・麹町」



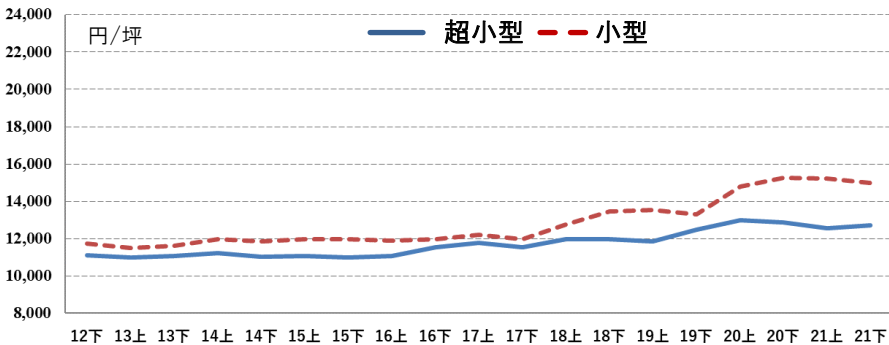
POINT

- 「水道橋・御茶ノ水」は両タイプともに前期比マイナス。なお、小型の同-5.7%は全エリアで最大の下落率。
- 「市ヶ谷・四ツ谷・麹町」は両タイプともに前期比プラスとなり、小型では20年上期からの上昇傾向が継続。

新築募集物件

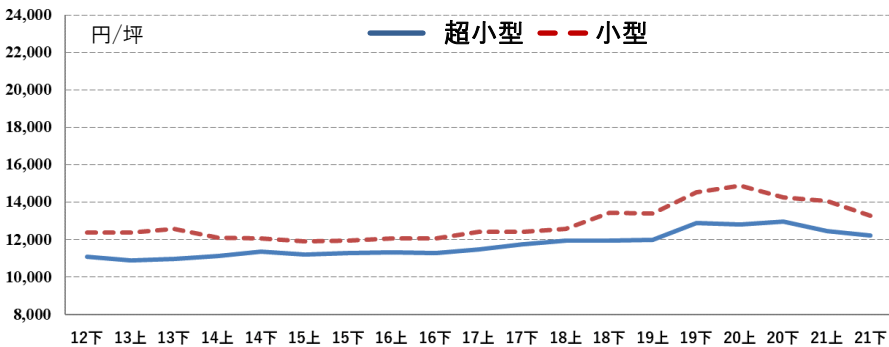
- ◆ リョンドール秋葉原 10階建
神田佐久間町3丁目
- ◆ CIRCLES平河町 11階建
平河町1丁目
- ◆ アーカトルシュ玄曜館ビル神田 4階建
神田東松下町

10. 神田・秋葉原



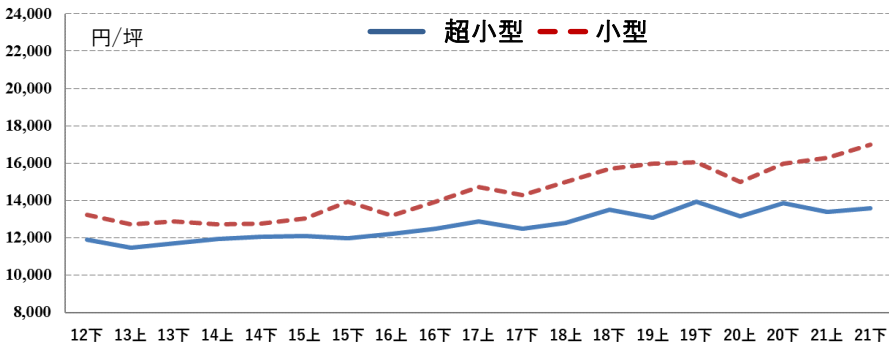
	超小型	小型
21下	12,728円	14,980円
前期比 (21上)	+1.4% (12,557円)	-1.6% (15,221円)
前年比 (20下)	-1.2% (12,881円)	-1.9% (15,272円)

11. 水道橋・御茶ノ水



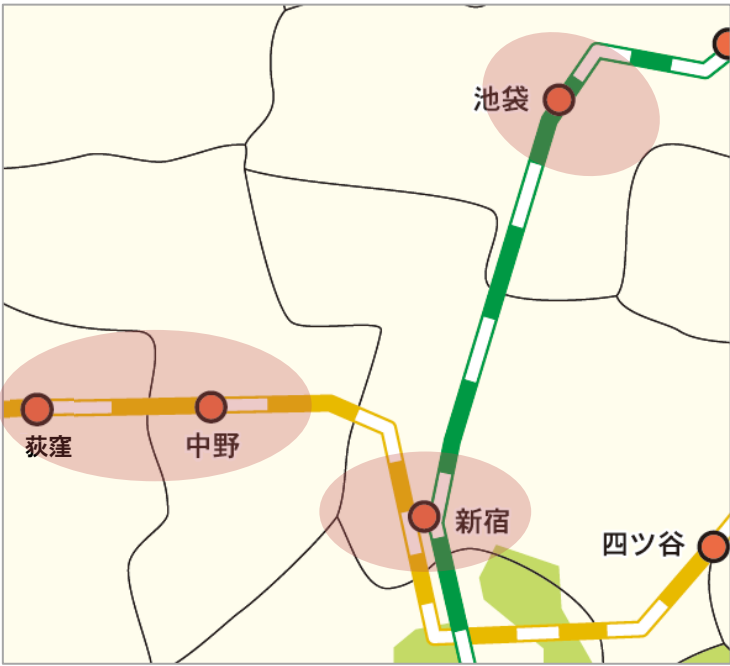
	超小型	小型
21下	12,243円	13,276円
前期比 (21上)	-1.6% (12,447円)	-5.7% (14,076円)
前年比 (20下)	-5.6% (12,976円)	-7.0% (14,275円)

12. 市ヶ谷・四ツ谷・麹町



	超小型	小型
21下	13,591円	16,971円
前期比 (21上)	+1.7% (13,368円)	+4.3% (16,272円)
前年比 (20下)	-2.0% (13,863円)	+6.3% (15,968円)

「新宿」「池袋」「中野・荻窪」



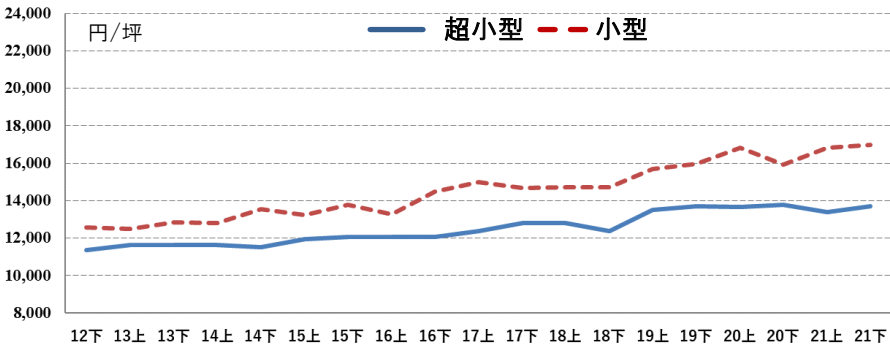
POINT

➤ 「中野・荻窪」は両タイプで前期比、前年比ともにプラス。特に小型の前期比は+14.4%と大幅に上昇しており、今期全エリアで最大の上昇率。

新築募集物件

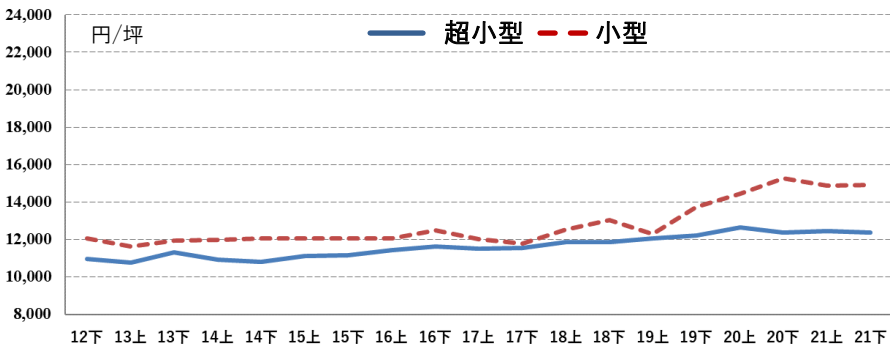
- ◆ AOI HOUSE Shinjuku 12階建
新宿2丁目
- ◆ 新宿エクスII 9階建
歌舞伎町1丁目

13. 新宿



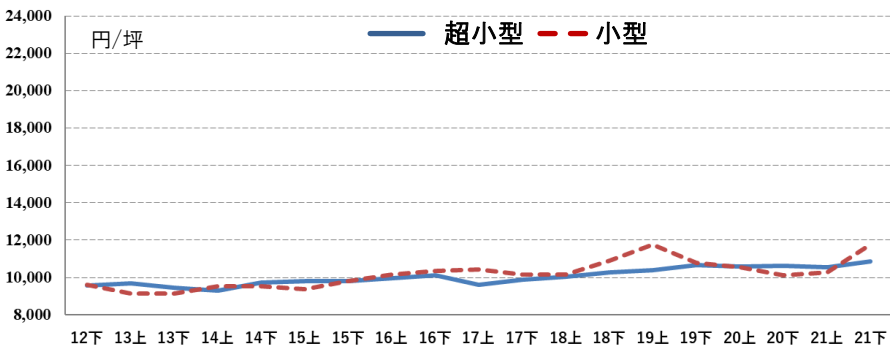
	超小型	小型
21下	13,712 円	16,969 円
前期比 (21上)	+2.5% (13,381円)	+0.9% (16,820円)
前年比 (20下)	-0.6% (13,789円)	+6.6% (15,916円)

14. 池袋



	超小型	小型
21下	12,366 円	14,898 円
前期比 (21上)	-0.6% (12,439円)	+0.2% (14,871円)
前年比 (20下)	+0.1% (12,350円)	-2.4% (15,271円)

15. 中野・荻窪



	超小型	小型
21下	10,868 円	11,750 円
前期比 (21上)	+2.9% (10,563円)	+14.4% (10,268円)
前年比 (20下)	+2.2% (10,632円)	+16.0% (10,125円)

「大塚・巣鴨」「上野・浅草」「両国・錦糸町」



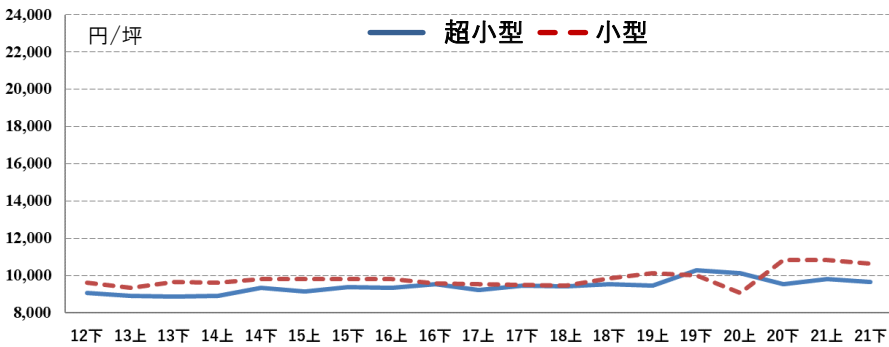
POINT

- 「大塚・巣鴨」は両タイプともに前期比マイナス。
- 「両国・錦糸町」の超小型では同-3.3%と今期全エリアで最大の下落率となった。

新築募集物件

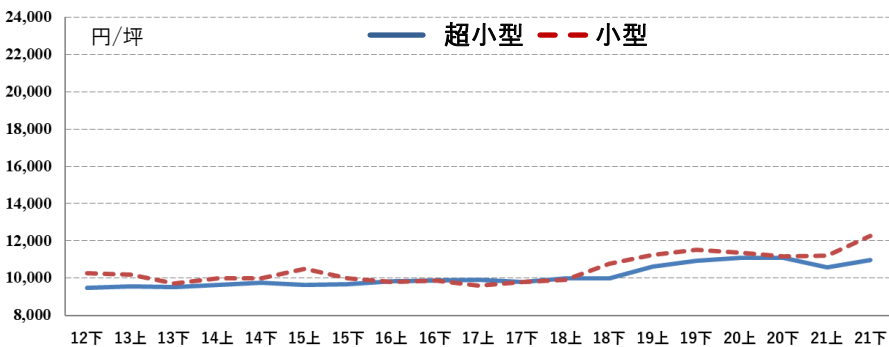
- ◆ BELL WOOD EAST 12階建
千田
- ◆ Comfair森下 7階建
千歳3丁目

16. 大塚・巣鴨



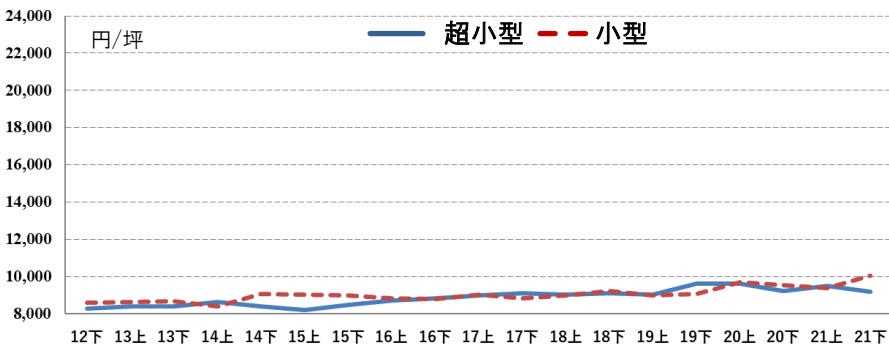
	超小型	小型
21下	9,651 円	10,654 円
前期比 (21上)	-1.6% (9,805円)	-1.5% (10,815円)
前年比 (20下)	+1.2% (9,541円)	-1.5% (10,815円)

17. 上野・浅草



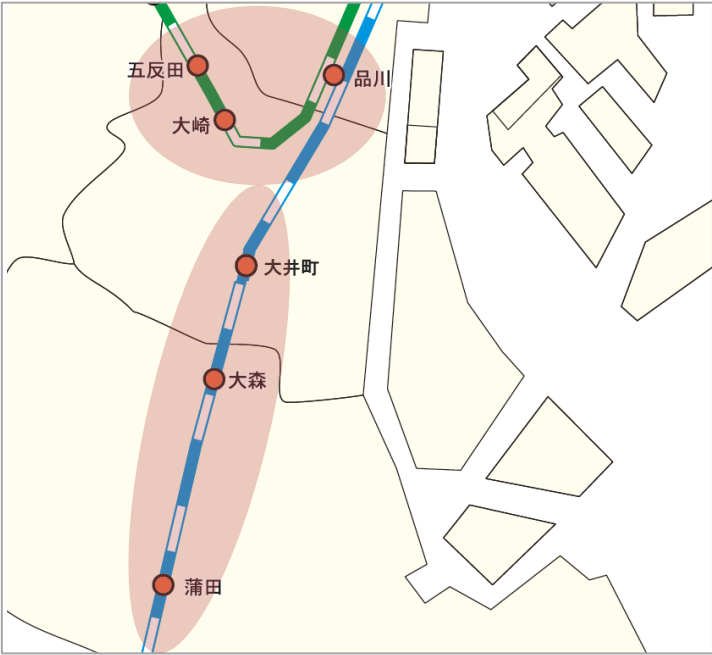
	超小型	小型
21下	10,992 円	12,254 円
前期比 (21上)	+4.0% (10,571円)	+9.4% (11,206円)
前年比 (20下)	-0.8% (11,081円)	+9.6% (11,182円)

18. 両国・錦糸町



	超小型	小型
21下	9,195 円	10,068 円
前期比 (21上)	-3.3% (9,506円)	+7.2% (9,391円)
前年比 (20下)	-0.5% (9,243円)	+5.7% (9,528円)

「品川・大崎・五反田」「蒲田・大森・大井町」

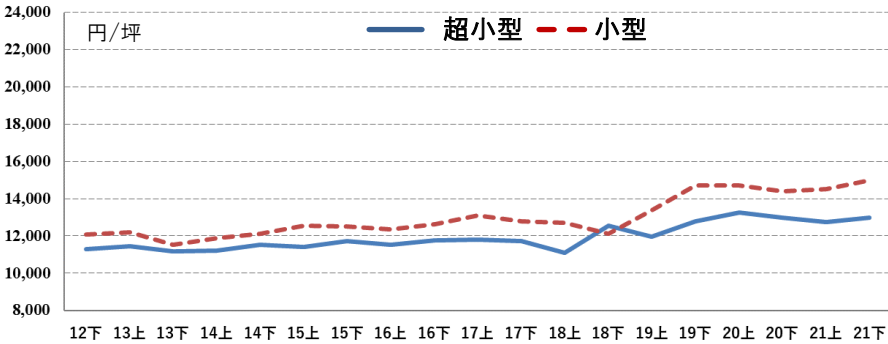


POINT

- 「品川・大崎・五反田」は両タイプで前期比、前年比ともにプラス。
- 「蒲田・大森・大井町」の小型では、前期比+3.7%、前年比+16.1%と2期連続で上昇した。

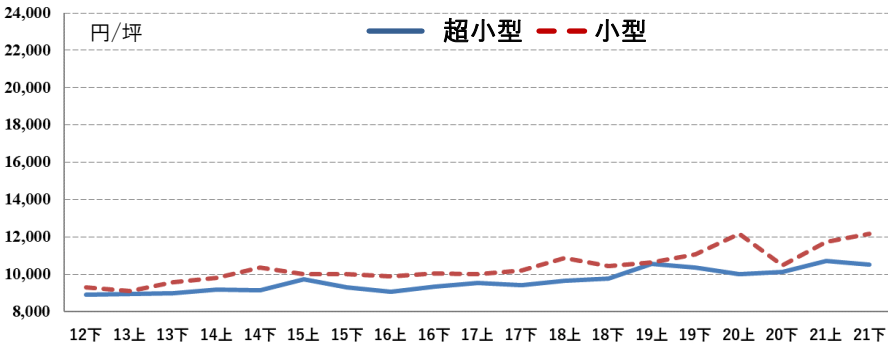
新築募集物件

19. 品川・大崎・五反田



	超小型	小型
21下	12,989円	14,974円
前期比	+2.1%	+3.3%
(21上)	(12,726円)	(14,499円)
前年比	+0.1%	+4.0%
(20下)	(12,977円)	(14,397円)

20. 蒲田・大森・大井町



	超小型	小型
21下	10,541円	12,179円
前期比	-1.8%	+3.7%
(21上)	(10,729円)	(11,744円)
前年比	+4.0%	+16.1%
(20下)	(10,136円)	(10,488円)

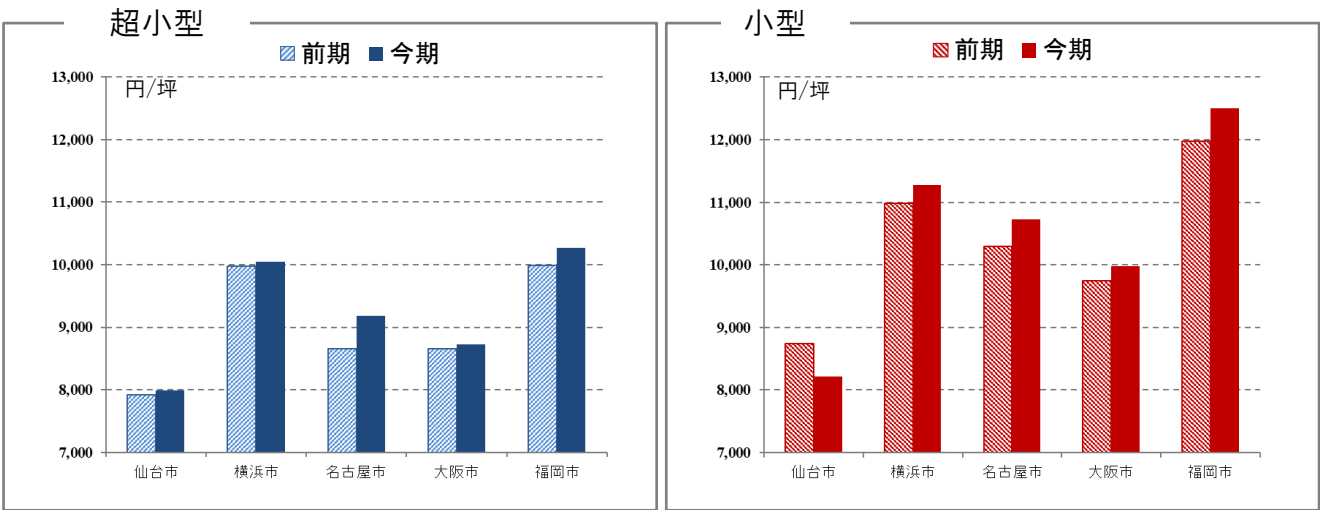
その他主要エリア
 募集賃料一覧

※矢印は前期からの変化率

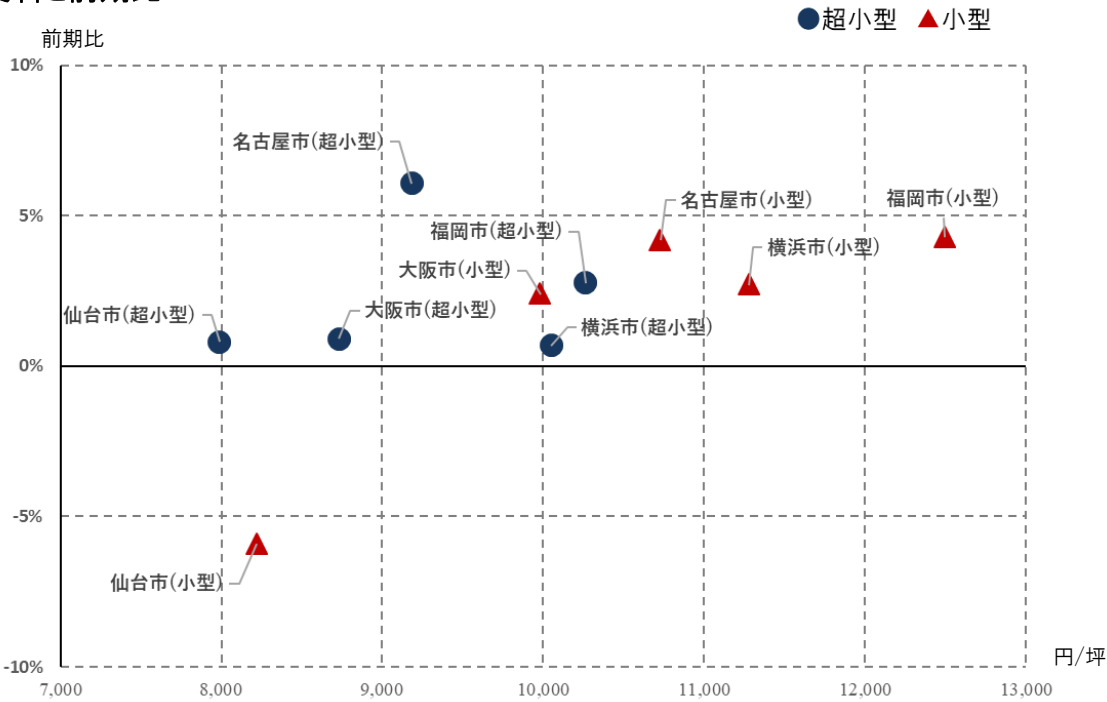
↓ -10.0%以下
 ↘ -9.9%～-5.0%
 → -4.9%～4.9%
 ↗ 5.0%～9.9%
 ↑ 10.0%以上

No	エリア	超小型（5～25坪）		小型（25～50坪）	
		21下	前期比 (21上)	21下	前期比 (21上)
①	仙台市 （青葉区・宮城野区・若林区）	7,987 円	+0.8% (7,923円) →	8,221 円	-5.9% (8,737円) ↘
②	横浜市 （中区・西区・神奈川区）	10,049 円	+0.7% (9,980円) →	11,279 円	+2.7% (10,982円) →
③	名古屋市 （中区・中村区・東区）	9,182 円	+6.1% (8,656円) ↗	10,729 円	+4.2% (10,298円) →
④	大阪市 （中央区・西区・北区）	8,730 円	+0.9% (8,651円) →	9,983 円	+2.4% (9,749円) →
⑤	福岡市 （博多区・中央区）	10,264 円	+2.8% (9,988円) →	12,496 円	+4.3% (11,982円) →

エリア別 賃料



エリア別 賃料と前期比



POINT

【超小型】

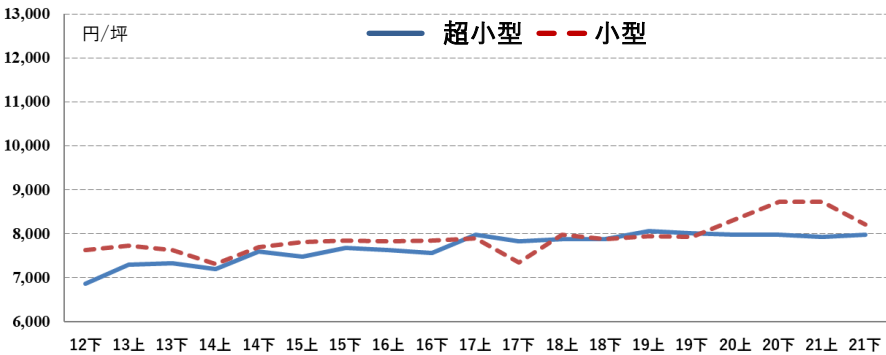
超小型の賃料は、5エリア全てで前期比プラス。名古屋市に関しては同+6.1%と大幅に上昇。

【小型】

小型の賃料は、仙台市のみ前期比-5.9%と下落。その他のエリアは同+5.0%未満と落ち着きを見せている。福岡市は両タイプで12年下期以降の最高値を更新した。

① 仙台市(青葉区・宮城野区・若林区)

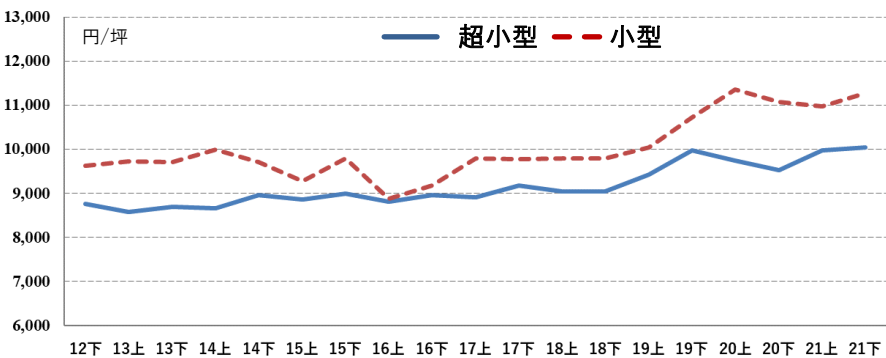
➤ 小型で、前期比-5.9%と、その他主要エリア内で唯一の下落。



	超小型	小型
21上	7,987円	8,221円
前期比	+0.8%	-5.9%
(20下)	(7,923円)	(8,737円)
前年比	0.0%	-5.9%
(20上)	(7,986円)	(8,734円)

② 横浜市(中区・西区・神奈川区)

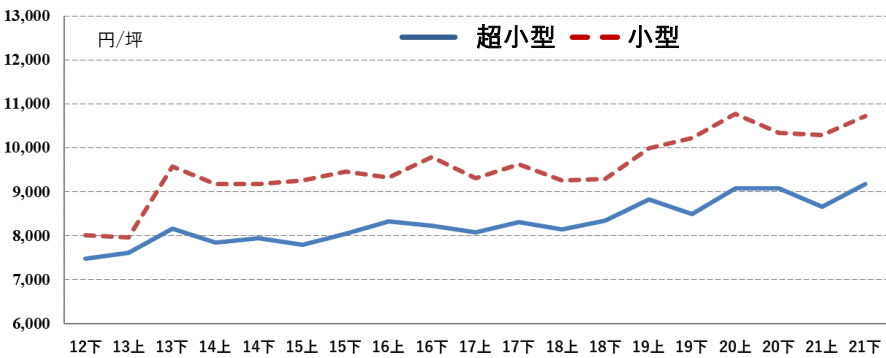
➤ 超小型、小型ともに前期比、前年比はプラスで推移。



	超小型	小型
21上	10,049円	11,279円
前期比	+0.7%	+2.7%
(20下)	(9,980円)	(10,982円)
前年比	+5.5%	+1.8%
(20上)	(9,527円)	(11,078円)

③名古屋市(中区・中村区・東区)

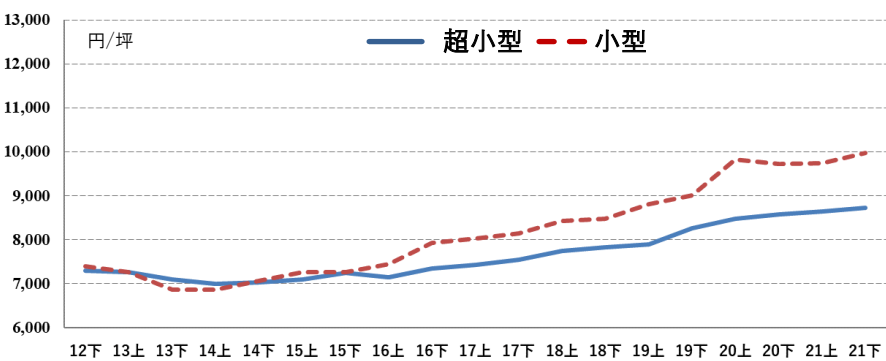
➤ 超小型、小型ともに前期比、前年比はプラスで推移。



	超小型	小型
21上	9,182円	10,729円
前期比 (20下)	+6.1% (8,656円)	+4.2% (10,298円)
前年比 (20上)	+1.2% (9,075円)	+3.7% (10,344円)

④ 大阪市(中央区・西区・北区)

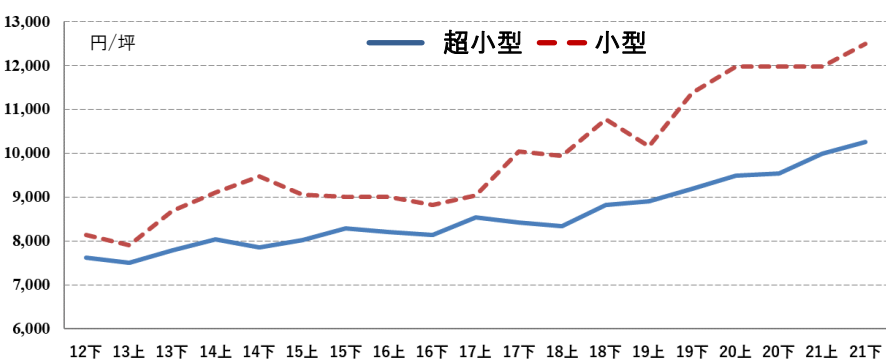
➤ 超小型、小型ともに前期比、前年比はプラスで推移。超小型は16年下期から11期連続の上昇。



	超小型	小型
21上	8,730円	9,983円
前期比 (20下)	+0.9% (8,651円)	+2.4% (9,749円)
前年比 (20上)	+1.8% (8,577円)	+2.6% (9,734円)

⑤ 福岡市(博多区・中央区)

➤ 超小型、小型ともに前期比、前年比はプラスで推移。両タイプで12年下期以降の最高値を更新。



	超小型	小型
21上	10,264円	12,496円
前期比 (20下)	+2.8% (9,988円)	+4.3% (11,982円)
前年比 (20上)	+7.6% (9,542円)	+4.3% (11,982円)

～東京都における物件数の推移～

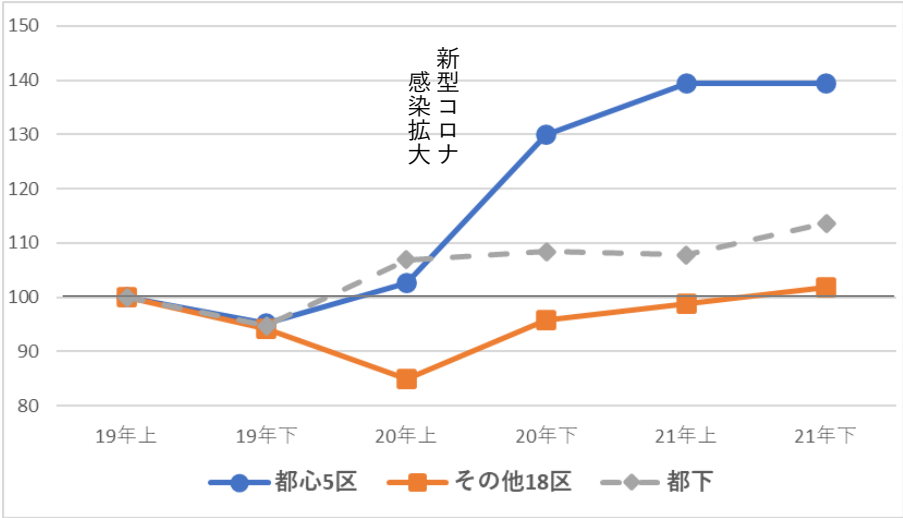
東京都の募集物件数について、19年上期から半期ごとの推移を都心5区(千代田・中央・港・新宿・渋谷)、東京23区から都心5区を除いた18区(以下、その他18区)、23区を除く東京都下(以下、都下)の3エリアに分けて見てみた。

<本FOCUS の集計対象>
エリア：東京都全域 面積：5～50 坪以下 駅徒歩：10分以内 期間：2019年以降の半期ごと
物件数の集計方法：各月で重複処理した後、6カ月分を合計

都心5区の募集物件急増は止まる

都心5区、その他18区、都下についてそれぞれの19年上期の募集物件数を100として、その推移を見てみると、都心5区では前期比+0.1とほぼ横ばい。20年上期から続いた物件数の急増が一旦止まった格好になった。一方、その他18区は同+2.9、都下は同+5.4と依然、増加が続いている。

図表1：東京都 募集物件数 指数（2019年上期＝100）

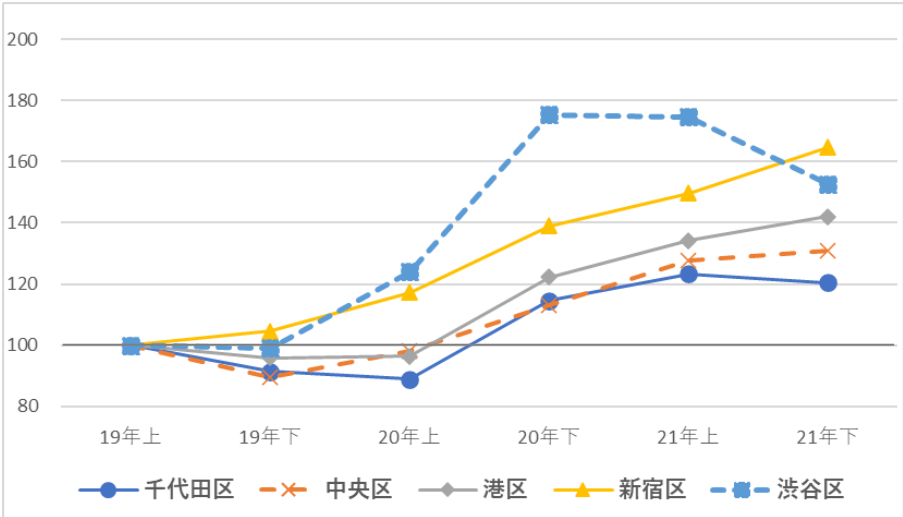


	21年上	21年下	前期比
都心5区	139.3	139.4	+0.1
その他18区	98.9	101.8	+2.9
都下	107.8	113.6	+5.4

渋谷区の募集物件数は今期大幅に減少

「不動産情報サイト アットホーム」で募集される東京都の貸事務所全体の75%超を占める都心5区を区別に見たところ、前期比で減少したのは渋谷区と千代田区。特に渋谷区は前期比-12.6と大幅に減少している。同区はIT企業等に人気が高いといわれており、他のエリアよりもコロナ禍で低迷していたオフィスニーズの回復が早いことがうかがわれる。

図表2：都心5区 募集物件数 指数（2019年上期＝100）



	21年上	21年下	前期比
千代田区	123.3	120.5	-2.3
中央区	127.6	130.8	+2.5
港区	134.2	142.0	+5.8
新宿区	149.6	164.7	+10.1
渋谷区	174.7	152.7	-12.6

～都心5区の築年数別物件数の推移～

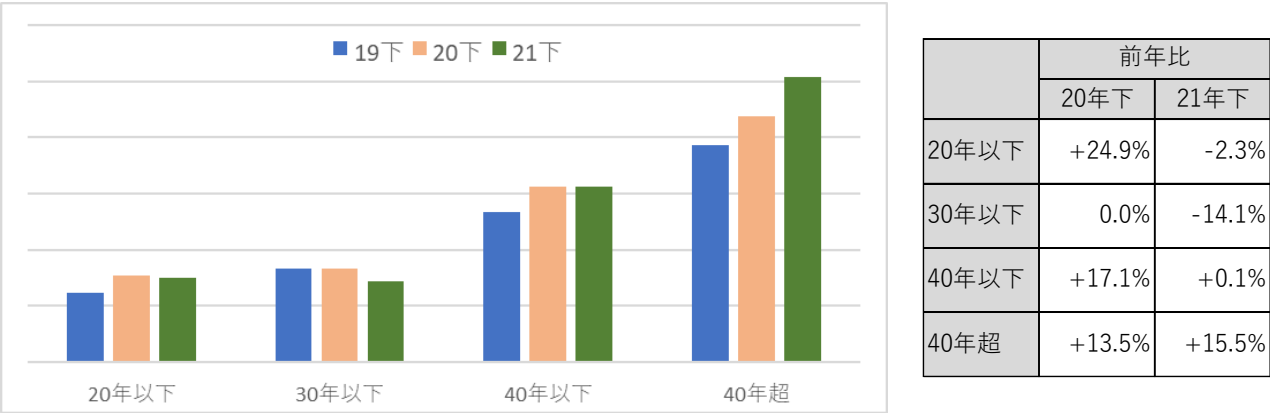
東京都心5区の募集物件について、築年数（竣工後経過年数）別にその推移を調査してみたところ、以下のような特徴が見られた。

<本FOCUSの集計対象>
エリア：都心5区 面積：5～50坪以下 駅徒歩：10分以内 期間：2019～2021年の各下期
物件数の集計方法：半期分を重複処理した後、築年数別に集計

築30年以下は減少。築古物件は増加傾向

都心5区の募集物件を築年数別に分け、1年ごとの物件数推移を見てみると、最も増加したのは40年超の物件で、19年下期から一貫して10%超増加している。この40年超の募集物件数（＝空室）の増加は、耐震基準の変更前に建築された物件であることも影響している可能性がある。一方、それより築年数の浅い物件は、40年以下で前年比横ばい、30年以下、20年以下とも減少に転じている。

図表3：都心5区 築年数別 募集件数推移

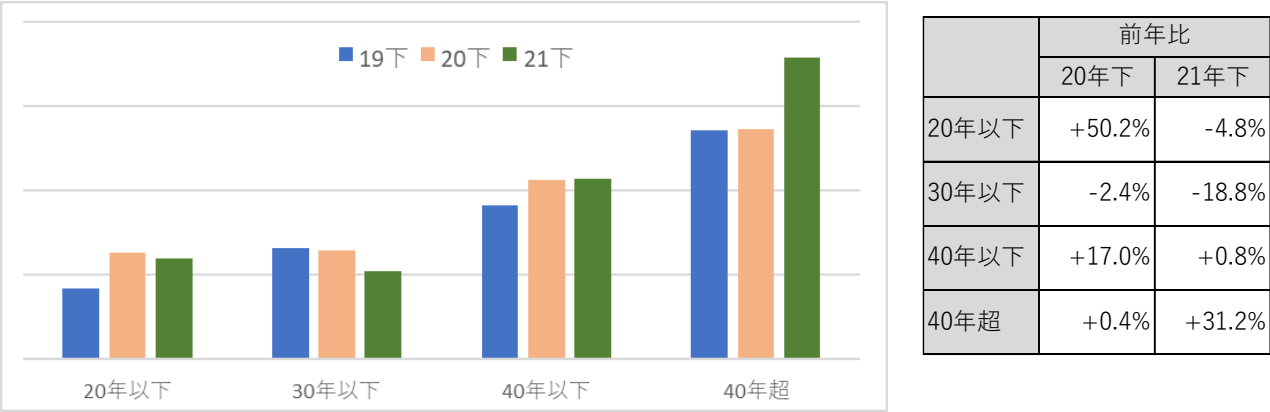


築浅物件の募集数が減少。コロナ後を見据えた需要の回帰が一因

その中で、今期超小型・小型いずれも賃料トップの銀座を含む中央区を詳しく見てみた。40年超が19年下期比で大幅に上昇しているのは5区全体と共通だが、20年以下の物件数は20年下期に前年比+50.2%と増加した後、21年下期は同-4.8%と減少に転じている。30年以下も同-18.8%と大幅に減少している。

今期（21年下期）は、ワクチンが普及したこともあり、感染状況は9月以降年末まで落ち着きを見せていた。経済活動が回復するにつれ対面コミュニケーションの重要性を改めて認識した企業も多く、コロナ後を見据えて都心のオフィスを再契約する動きも見られた。その際、オフィス需要の高い都心5区では、比較的築浅とされる20年以下の物件や、それよりは築古だが20年以内に比べて賃料が手ごろな30年以下の物件から先に成約し、その結果が比較的築浅の物件数減少という形で現れたようだ。

図表4：中央区 築年数別 募集件数推移



【アットホーム株式会社について】

■ 名称	アットホーム株式会社(At Home Co.,Ltd.)
■ 創業	1967年12月
■ 資本金	1億円
■ 従業員数	1,594名(2022年1月末現在)
■ 代表取締役社長	鶴森 康史
■ 本社所在地	東京都大田区西六郷4-34-12
■ 事業内容	1.不動産会社間情報流通サービス 2.消費者向け不動産情報サービス 3.不動産業務支援サービス
■ 会社案内	https://athome-inc.jp/

【アットホームラボ株式会社について】

■ 名称	アットホームラボ株式会社(At Home Lab Co.,Ltd.)
■ 創業	2019年5月
■ 資本金	3,000万円
■ 従業員数	10名(2022年1月末現在)
■ 代表取締役	庄司 利浩
■ 所在地	東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル4F
■ 事業内容	1.人工知能領域に関する研究、開発、販売、管理 2.コンピューターシステム、ソフトウェア、およびサービスの企画、開発、販売 3.不動産市場動向の調査、分析 4.不動産に関する新たな広告および取引手法などの調査、研究
■ 会社案内	https://www.athomelab.co.jp

◆引用・転載時のクレジット記載のお願い◆

本リリース内容の転載にあたりましては、「アットホーム調べ」という表記をお使いいただきますようお願い申し上げます。

【本リリースに関するお問合せ先】

アットホーム株式会社 PR事務局 ビルコム株式会社 担当:吉武
TEL:03-5413-2411 E-mail:athome@bil.jp

アットホーム株式会社 マーケティングコミュニケーション部 広報担当:佐々木・西嶋
TEL:03-3580-7504 E-mail:contact@athome.co.jp

【調査内容に関するお問合せ先】

アットホームラボ株式会社 データマーケティング部 担当:津本・磐前(いわさき)
TEL:03-6479-0540 E-mail:daihyo@athomelab.co.jp

この調査はアットホーム株式会社がアットホームラボ株式会社に分析を委託したものです。
アットホーム(株)およびアットホームラボ(株)は本資料に掲載された情報について、その正確性、有用性等を保証するものではなく、利用者が損害を被った場合も一切責任を負いません。また、事前に通知をすることなく本資料の更新、追加、変更、削除、もしくは改廃等を行うことがあります。